

週間漁海況情報—第14号

平成24年4月9日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H24.4.9)を示した。

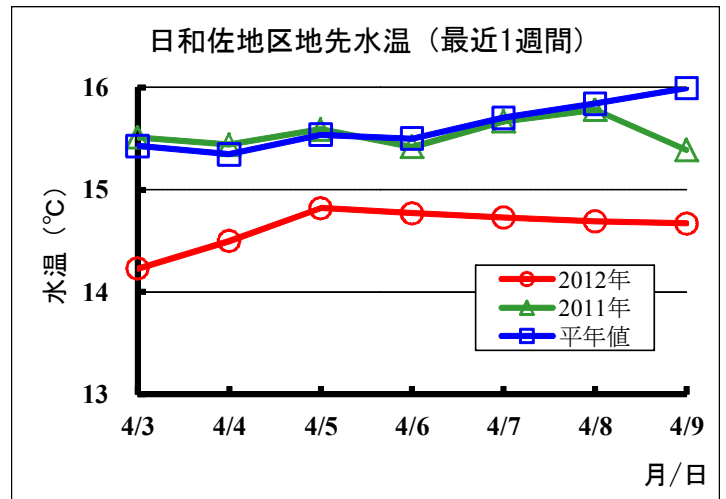
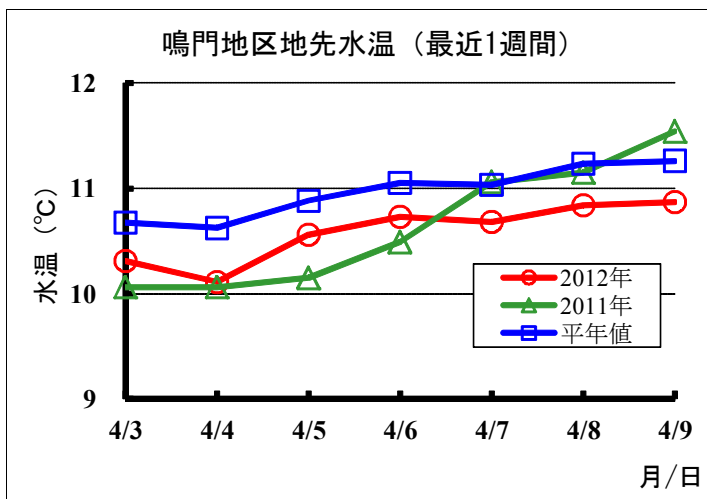
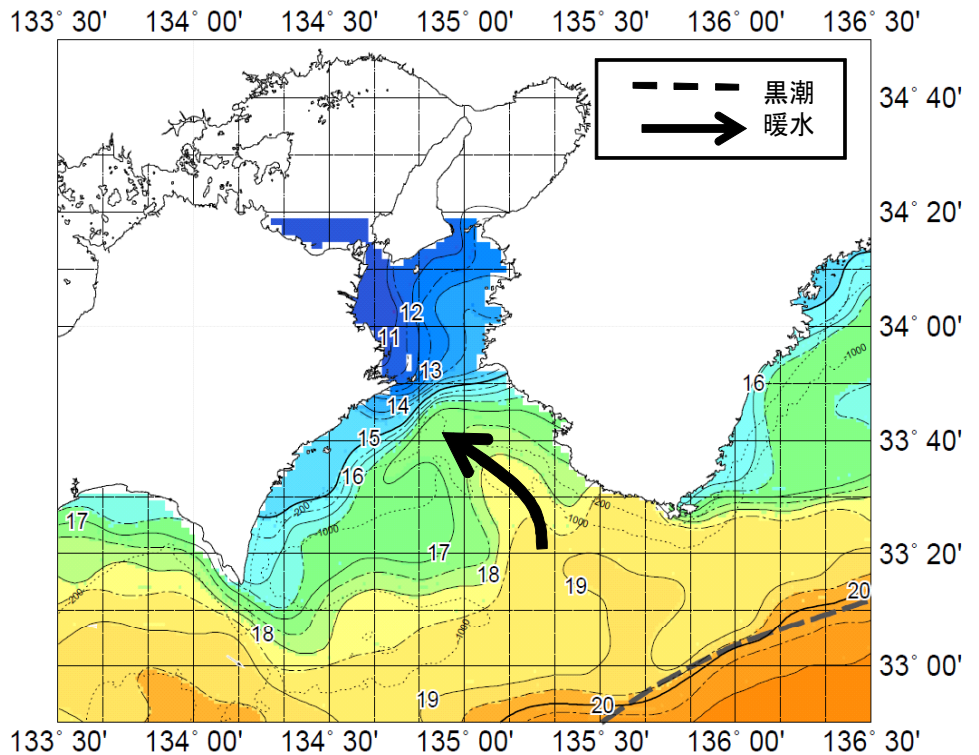
黒潮は、室戸岬沖でかなり離岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、20～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10℃台、紀伊水道で11～14℃台、海部沿岸で14～17℃台である。

紀伊水道外域では和歌山県沿岸からゆるやかな反時計回りの暖水流入がある。

海部沿岸では、内海系水の南下がみられ、高知県に至るまで16℃以下の内海系水に覆われている。

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の10.1～10.9℃、日和佐地区で「やや低め」の14.2～14.8℃、牟岐地区は「低め」～「やや低め」の14.1～15.0℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上

2. 漁況の経過

建網：海部沿岸でブリが1.3トン（1日1隻当たり20kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小小主体にマサバが7.4トン（同212kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、ブリが10.2トン（同1,275kg）、メジロが1.2トン（同137kg）、小小主体にマサバが4.6トン（同1,157kg）、中・小主体にマダイが1.0トン（同138kg）、中主体にクロダイが0.2トン（同28kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にカツオが2.0トン（同103kg）、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.3トン（同19kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 4月2日～4月8日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
建網	海部沿岸	ブリ	67	1,322	20	
小型定置網		マサバ	35	7,425	212	小小主体
大型定置網		ブリ	8	10,200	1,275	
		メジロ	9	1,229	137	
		マサバ	4	4,626	1,157	小小主体
		マダイ	7	965	138	中小主体
		クロダイ	9	251	28	中主体
		カツオ	19	1,950	103	中主体
釣り	紀伊水道	タチウオ	11	208	19	特大主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年4月4～10日の海部沿岸では、建網でブリが0.6トン、小型定置網でアオリイカが0.2トン、マイワシが0.9トン、サバ類が7.0トン、大型定置網でブリが6.7トン、メジロが1.3トン、ハマチが1.1トン、アオリイカが0.2トン、サバ類が0.2トン、釣りでタチウオが0.2トン、メジロが0.4トン、ハマチが0.5トン、マサバが0.4トン、紀伊水道では、釣りでタチウオが0.3トン、メジロが0.3トン、ハマチが0.3トン水揚げされていた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「かなり離岸」～「やや離岸」、潮岬沖で「やや離岸」で推移する見込み。海部沿岸では、引き続き低水温の内海系水に覆われる見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」～「平年並み」の10～11℃台、日和佐地先は「やや低め」の14～15℃台で推移する見込み。